



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社 トラスト・テック

上場取引所 東

コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 穰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 村井 範之

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	20,366	8.8	1,278	20.4	1,236	15.5	753	13.3
2019年6月期第1四半期	18,717	56.3	1,062	9.7	1,071	9.5	664	8.4

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 545百万円 (9.6%) 2019年6月期第1四半期 497百万円 (28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	17.77	17.74
2019年6月期第1四半期	15.69	15.63

(注) 1. 2020年6月期第1四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年6月期第1四半期については遡及適用後の数値を記載しています。

2. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	29,417	15,498	51.4
2019年6月期	31,207	15,802	49.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 15,127百万円 2019年6月期 15,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		30.00		40.00	70.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		15.00		25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,810	3.9	2,731	12.2	2,636	14.4	1,560	22.0	36.81
通期	87,000	6.6	6,500	13.6	6,350	13.3	3,840	3.6	90.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	42,386,200 株	2019年6月期	42,386,200 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	1,532 株	2019年6月期	1,532 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	42,384,668 株	2019年6月期1Q	42,358,295 株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年11月13日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会の他にも、当社では、個人投資家説明会の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しております。開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

2018年8月31日に行われた当社の連結子会社Gap Personnel Holdings LimitedとQuattro Group Holdings Limitedの企業結合について、前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間との比較・分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は20,366百万円（前年同期比8.8%増）となりました。主力である技術系セグメントにおける利益増、および海外領域におけるQuattro Group Holdings Limitedの子会社化に係る一時費用の剥落により、営業利益は1,278百万円（前年同期比20.4%増）、経常利益は1,236百万円（前年同期比15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は753百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。

[技術系領域]（顧客企業の研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託事業）

当第1四半期連結累計期間においては、注力分野であるIT系領域におけるIT・ソフト開発、および輸送用機器や機械などの業種で社員配属が伸長しました。この結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は10,702百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は1,226百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

[製造系領域]（顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業）

当第1四半期連結累計期間においては、重点戦略地域に注力して求人案件の獲得数を増やし応募者とのマッチング数を増やす施策を推し進めましたが、当第1四半期連結累計期間内での大幅な業績寄与には至りませんでした。この結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は2,388百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益は65百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

[海外領域]（日本国外における技術・製造分野に対する派遣・請負や、有料職業紹介などの人材サービス事業）

当第1四半期連結累計期間においては、2018年8月に子会社化した英国の人材派遣会社Quattro Group Holdings Limitedの業績寄与および一時費用の剥落により、売上高は7,278百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期はセグメント損失74百万円）となりました。

[その他]

報告セグメントに含まれない領域として、特例子会社（株式会社トラスト・テック・ウィズ）における障がい者雇用を推進しており、主にグループ間でのフラワーアレンジメント制作物の納品や梱包軽作業などを行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は43百万円（前年同期比72.5%増）、セグメント損失は41百万円（前年同期はセグメント損失34百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,790百万円減少（5.7%減）し、29,417百万円となりました。主たる変動項目は、配当及び法人税等の支払などによる現金及び預金の減少2,407百万円、有形固定資産の増加411百万円及び受取手形及び売掛金の増加283百万円によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,485百万円減少（9.7%減）し、13,918百万円となりました。主たる変動項目は、未払費用の減少2,100百万円、未払法人税等の減少1,032百万円、賞与引当金の増加975百万円及び短期借入金の増加510百万円であります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて304百万円減少（1.9%減）し、15,498百万円となりました。主たる変動項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益753百万円の計上及び配当金の支払847百万円により利益剰余金が94百万円減少、その他為替換算調整勘定が217百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2019年8月9日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,257	7,850
受取手形及び売掛金	10,905	11,189
その他	1,064	1,270
貸倒引当金	△28	△27
流動資産合計	22,199	20,282
固定資産		
有形固定資産	647	1,059
無形固定資産		
のれん	5,385	5,011
その他	813	790
無形固定資産合計	6,199	5,802
投資その他の資産	2,161	2,273
固定資産合計	9,008	9,134
資産合計	31,207	29,417
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,199	2,709
1年内償還予定の社債	196	196
未払費用	5,044	2,944
未払法人税等	1,445	413
未払消費税等	1,831	1,613
賞与引当金	1,168	2,144
その他	2,000	2,435
流動負債合計	13,886	12,456
固定負債		
社債	714	616
退職給付に係る負債	53	61
その他	750	784
固定負債合計	1,518	1,462
負債合計	15,404	13,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216	4,216
資本剰余金	3,321	3,321
利益剰余金	7,833	7,738
自己株式	△1	△1
株主資本合計	15,369	15,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	70	△146
その他の包括利益累計額合計	70	△147
新株予約権	3	3
非支配株主持分	360	367
純資産合計	15,802	15,498
負債純資産合計	31,207	29,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	18,717	20,366
売上原価	14,916	16,239
売上総利益	3,801	4,127
販売費及び一般管理費	2,738	2,848
営業利益	1,062	1,278
営業外収益		
受取利息	0	1
助成金収入	15	10
為替差益	18	-
その他	2	1
営業外収益合計	36	13
営業外費用		
支払利息	20	25
為替差損	-	16
持分法による投資損失	0	8
その他	5	4
営業外費用合計	27	55
経常利益	1,071	1,236
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	1,071	1,235
法人税、住民税及び事業税	309	303
法人税等調整額	104	160
法人税等合計	413	464
四半期純利益	657	771
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	664	753

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	657	771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△158	△239
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	13
その他の包括利益合計	△159	△226
四半期包括利益	497	545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507	535
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社は株式会社ビーネックステクノロジーズを設立し、連結の範囲に含めております。

また、当社の連結子会社である株式会社トラスト・アイパワーズは、同社を存続会社として、同じく当社の連結子会社である株式会社トラスト・ネクストソリューションズを消滅会社とする吸収合併を実行し、株式会社ビーネックスソリューションズに商号変更しております。

さらに、Gap Personnel Holdings Limitedは、当第1四半期連結会計期間より、Gap Personnel Europe Ltdを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号 リースの適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用していません。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

当該会計基準の適用に伴う当第1四半期連結累計期間における連結財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,486	2,437	6,792	18,716	0	18,717	—	18,717
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	—	4	24	28	△28	—
計	9,486	2,442	6,792	18,721	25	18,746	△28	18,717
セグメント利益又は 損失(△)	1,110	43	△74	1,079	△34	1,045	17	1,062

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、Quattro Group Holdings Limitedの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「海外領域」の資産の金額が1,874百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、Quattro Group Holdings Limitedの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、「海外領域」ののれんの金額が562百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,702	2,388	7,275	20,366	0	20,366	—	20,366
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	2	2	43	46	△46	—
計	10,702	2,388	7,278	20,369	43	20,413	△46	20,366
セグメント利益又は 損失(△)	1,226	65	22	1,314	△41	1,273	5	1,278

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定及び比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2018年8月31日に行われた当社の連結子会社であるGap Personnel Holdings LimitedとQuattro Group Holding Limitedとの企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額907百万円は、会計処理の確定により345百万円減少し、562百万円となっております。のれんの減少は、その他無形固定資産が547百万円、繰延税金負債が103百万円、非支配株主持分が99百万円それぞれ増加したことによるものです。

これにより前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ6百万円減少しております。

共通支配下の取引等

連結子会社間の吸収合併

当社の連結子会社である株式会社トラスト・アイパワーズは2019年7月1日付にて同じく当社の連結子会社である株式会社トラスト・ネクストソリューションズを吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業内容

①結合企業

結合企業の名称	株式会社トラスト・アイパワーズ
事業の内容	ICT分野における人材派遣、アウトソーシング

②被結合企業

結合企業の名称	株式会社トラスト・ネクストソリューションズ
事業の内容	自動車分野中心とした組込みソフトウェアの企画から開発 電子回路設計開発及び評価

(2) 企業結合日

2019年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社トラスト・アイパワーズを存続会社、株式会社トラスト・ネクストソリューションズを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社ビーネックスソリューションズ

(5) その他取引の概要に関する事項

両社の経営資源を統合して経営の効率化及び企業価値の向上を図ることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2013年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2013年9月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

（重要な後発事象）

当社は、2019年11月13日開催の取締役会において、株式会社アクシス・クリエイト、株式会社フェイス、並びに株式会社アクシスヒューマンデベロップメントの3社の株式を取得し、子会社化することを決議し、同日に公表いたしました。

1. 株式取得の目的

当社が属する技術系派遣市場は拡大基調が続いており、なかでもITエンジニアに対する需要が高く、5GやIoTの浸透によりITエンジニアの需要は全産業で高まり、今後も高水準で推移することが予想されます。

当社は、2020年6月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画において、技術系領域の更なる伸長、なかでもIT技術分野を拡張させることを掲げました。今回の3社の子会社化は中期経営計画に沿ったものであり、IT技術分野の拡張を前進させるためのものです。

2. 株式取得の相手先の氏名

株式会社アクシス・クリエイト	谷 清人
	寺田 崇
株式会社フェイス	谷 清人
	寺田 崇
	松岡 正泰
株式会社アクシスヒューマンデベロップメント	谷 清人
	寺田 崇

3. 株式を取得した企業の概要

- | | |
|------------|-----------------------|
| ① 被取得企業の名称 | 株式会社アクシス・クリエイト |
| ② 事業の内容 | SES事業（ITエンジニア派遣） |
| ③ 資本金の額 | 20百万円 |
| ① 被取得企業の名称 | 株式会社フェイス |
| ② 事業の内容 | SES事業（ITエンジニア派遣） |
| ③ 資本金の額 | 1百万円 |
| ① 被取得企業の名称 | 株式会社アクシスヒューマンデベロップメント |
| ② 事業の内容 | ICTエンジニアの育成 |
| ③ 資本金の額 | 1百万円 |

4. 株式取得の時期

2019年11月18日（予定）

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

株式会社アクシス・クリエイト

- | | |
|------------|----------|
| ① 取得する株式の数 | 400株 |
| ② 取得価額 | 1,303百万円 |
| ③ 取得後の持分比率 | 100% |

株式会社フェイス

- | | |
|------------|--------|
| ① 取得する株式の数 | 20株 |
| ② 取得価額 | 250百万円 |
| ③ 取得後の持分比率 | 100% |

株式会社アクシスヒューマンデベロップメント

- | | |
|------------|-------|
| ① 取得する株式の数 | 20株 |
| ② 取得価額 | 12百万円 |
| ③ 取得後の持分比率 | 100% |